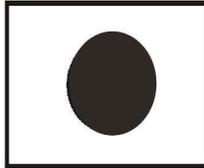


日中がわぐち

No.49
2013年10月20日

ホームページ
www.k-jcfa.com



川口市日本中国友好協会
川口市上青木1-20-3
TEL 048-253-2177
発行責任者 栗原喜一郎

編集・制作 電腦倶楽部

大使夫人・友好交流部参事官
汪婉 女史
川口市視察・歓迎交流会
理事長代行 加藤 展裕

川口市日中は設立四十周年記念として、六月二十六日に大使館から汪婉参事官のほか、友好交流部四名、総務部三名、科学技術部二名、武官室二名の書記官十一名をお迎えし、川口市日中から来賓(団体会員)三名、理事長ほか十八名が参加して、川口市視察・歓迎会を開催しました。

歓迎交流会に先立ち、川口市の産業のシンボル、地場産業の鑄造工場と川口市朝日環境センターを視察されました。午後二時三十分より一八七一年創業で鑄造メーカーの老舗・(株)永瀬留十郎工場を視察。永瀬重一社長の案内で工場を

見学後、中国人鑄物研修生の働く現場を視察いたしました。



午後四時前に朝日環境センター(市内に二か所あるごみの分別処理を行っている施設のひとつ)に到着。リサイクルプラザ鈴木清所長から研修室で説明を受けて、資源化処理施設で、ビン、缶、ペットボトル、紙類、プラスチック製容器の分別処理ライン見学。その後、生ごみ処理施設を四階から見学。三階のリサイクルショップ、リサイクル工房の説明も受けました。

二か所とも短時間の見学であったため、十分理解されるには至らなかったと思いますが、環境問題は世界各国で関心が高く、川口市のみならず、我が国を含めて近隣諸国との共同歩調が重要と思われま



午後五時半より会場を南鳩ヶ谷の「木曽路」に移動し歓迎交流会を開催いたしました。岡村幸四郎会長(川口市長は公務延長のため欠席でしたが、渋谷祥晴副市長より大使館の皆様のご来訪に対し歓迎の挨拶がありました。

続いて汪婉参事官から川口市日中友好協会設立四十周年のお祝いと永年の友好活動へのお礼の言葉があり、引き続き民間の力で日中友好活動を続けてほしいという挨拶がありました。



次に川口市商工会議所見玉洋介会頭から歓迎の挨拶、見学御礼そして川口市日中四十年お祝いの言葉があり、引き続き川口鋳物工業協同組合伊藤光男理事長の挨拶および乾杯のご発声で友好の宴が始まりました。

しばし歓談後、川口鋳物海研会（中国より鋳物研修生を受け入れていている団体）辻井一夫会長からお祝いのメッセージがあり、毎年市内事業所に八十～百人の研修生を受け入れて今年で三十五年になりますが、今後も継続して受け入れていきたいというお話がありました。



限られた時間の中で日中双方の話が盛り上がりつつあるようでしたが、最後に川口市日中友好協会栗原喜一郎理事長よりご参会の皆様へのお礼の

言葉と「これからも民間の力で微力ながら日中友好活動を継続してまいります」という決意の言葉で午後八時、歓迎と交流の宴を終了しました。

二月十一日

二〇一三年度 総会

内野 繁子

二月十一日（祭日）例年どおり、岡村幸四郎会長（川口市長）を迎え、川口駅東口の江南春で協会員四十五名が参加して、二〇一三年度の総会が行われました。石塚栄さんを議長に選出して、第一号議案・二〇一二年度の活動報告、第二号議案・決算報告では浅倉さんの会計監査報告と順調に審議が進みました。

今年役員改選の年で理事長代行の設置と会計を一名から二名に増員のための第二号

議案・規約改正案の審議も順調に、改選役員も承認され、第五号議案・本年度活動計画案は理事長が担当、第六号議案・予算案を会計より提案、いずれも全会一致で承認を受け総会は十八時に終了いたしました。

役員の異動

理事長代行 加藤展裕

事務局長 前田稔夫

理事 林芳男 正田洋一

退会役員 岸 実 木村一男

退 理 事 杉浦契子

会計監査 加藤美智子

引き続き新春祝賀会に移行し、来賓として県協会から会長、理事長、川口市議会議長、川口市教育長など多数の方においでいただき、六十五名の参加により、にぎやかに開催されカラオケも大賑わい県会長の定番も滞りなく歌っていただきました。

二月二十八日
中国大使館食事会

内野 繁子

二月二十八日十一時友好交流部参事官汪婉女士に食事会のご招待を受け、中国大使館に会長、理事長、副理事長ほか八名が招かれました。会長は公務多忙のため、残念ながら参加できませんでした。



たぶん日本では一番おいしい中華料理ではないかという豪華なお食事をいただきました。



第三十六期入門B開講式

井上 不二子



第三十六期生入門Bクラス開講式は栄町公民館・第二集会室にて四月五日（金）に行

われました。

理事長は歓迎の辞で「友好交流にはぜひとも意思の疎通をしなければならぬので、言葉は大事です」とのお話がありました。

今年の新入生は十六名です。老師は鮑萍さん、幹事は林芳男さん、副幹事は古田勝利さんでスタートです。加油！

四月十六日

初級クラス包饺子会

四月十六日婦人会館の調理室を利用して、初級Aクラス



の受講生が、担当講師の唐光蓮さんをお願いして「餃子の作り方講座」を開きました。



材料表と材料をすべてそろえて持ってきて、餃子を手際よく作っていく様子に感心して見とれていました。

本多中国語教室代表、内野副事務局長、前田事務局長もご招待を受け、ご相伴に与かりました。

楽しい企画でした。唐さんありがとうございました。

四月二十八日 電腦塾

グリーンセンター撮影会

電腦塾は春の一日グリーンセンターで写真を撮り、次回からはその写真を弄くりまわそうとの計画で撮影会を行ってみました。

七名が参加し花を愛でながら園内を散策し撮影を楽しみました。その後写真レタッチソフトの復習で講習があるとあります。十月・十一月は年賀はがき、十二月からはホームページの作成に入る予定です。

五月二日

四川省地震見舞金

大使館へ

四月二十七日、第一回理事会での決定にともない、四川省地震見舞金を元麻布の中国大使館友好交流部・呂新鋒氏

にお届けし、領収書を受領しました。

後日、感謝状が届けられました。感謝状は事務所に掛けてあります。

「にいはお」第二十五号

第二回編集会議

市東 文子

四月四日(木)・二十一時より、「にいはお」第一回の編集会議を前田・内野・本多・田村・市東の五名で行い、発行日は六月十六日(日)と決定いたしました。

入門Aクラスは人数が集まらず、残念ながら開講を見送りましたが、入門Bクラスは十六名が申し込みました。

「にいはお」第二十五号

六月十六日 発行

市東 文子



今年入門Aが開講せず、「にいはお」も貧弱な冊子になるかと杞憂していましたが、取り越し苦労でした。老師も有意義な面白い記事をたくさん寄せてくださいました。

入門Bの皆様は中国語と真摯に向き合う姿勢に脱帽です。十数年学んでいながら、最近息抜き多く、真面目さに欠けてきた己を恥じるばかりです。作文発表会を題材にしたクラスの名作原稿をドキドキしながら読みました。さらに旅行の想い出や、中国語とかかわった経緯などの楽しい原稿がありがとうございました。

「画報」から伝わる「日中か

わぐち」の笑いと涙の輝かしい一年も忘れられないよい記録になることでしょう。

延期

雲南省・少数民族と秘境八日間の旅

秋に予定していた中国研修旅行「シャングリラ・シーサンパンナの旅」は参加者が少なかったため、止むなく延期となりました。来年の春に改めて募集いたしますので、奮ってご参加ください。

編集後記

各行事担当の方々、多くの寄稿ありがとうございました。最近関東を襲ってくる台風が多く自然の脅威にひれ伏すばかりです。自分の体は自分で守り、身の安全に気をつけましょう。